

H 研究報告

1. 東洋文化研究所紀要

第98冊（昭和60年10月）

趙孟とその集團成員の「室」

——兼ねて侯馬盟書を検討する——

平勢 隆郎

『崇明県志』に見える「承価」「過投」「頂首」について

——田面田底慣行形成過程の一研究——

寺田 浩明

段玉裁の經學 ——學問と生涯——

吉田 純

馮雪峯における「同伴者」論の受容と形成

——その《革命與知識階級》——

芦田 肇

国民政府による関税自主権の回復過程

久保 亨

東アジア NICs の軽工業品輸出の連関効果

藤田 夏樹

第99冊（昭和61年2月）

睡虎地秦墓竹簡の「日書」にみえる「室」「戸」「同居」

をめぐって

太田 幸男

王蜀政権成立の前提について

佐竹 靖彦

『三國佛法傳通緣起』日本三論宗章研究

末木文美士

アプー・スィネータ村醜聞

——19世紀中葉エジプト・村落有力者層の権力基盤——

加藤 博

学校教育制度のシステム論的分析

——マレーシアの事例から——

川崎 有三

李朝末期の度量衡

鶴園 裕

Ⅳ 研究活動

第100冊（昭和61年3月）

- | | |
|---|-------|
| 1947年インド独立法の研究（→） | 山崎 利男 |
| モッラー・サドラーの「万有帰神論」訳注 | 鎌田 繁 |
| 東ベンガル・フォリドプル県のコノクシャル・エステートの研究 | 中里 成章 |
| 四明知禮の生涯と著述 | 池田 魯參 |
| 『太平經』の思想の社會的側面 | 高橋 忠彦 |
| ジョホル首長の即位儀礼——マレー半島、ヌグリ・スンビランにおける伝統的權威の存立基盤をめぐって—— | 富沢 寿勇 |
| 敦煌毛詩音殘卷反切の研究（中の5） | 平山 久雄 |
| 東洋文化研究所紀要掲載論文総目録（第1冊～第100冊） | |

2. 東洋文化

第66号（昭和61年2月）特集“六朝隋唐時代の思想と仏教”

- | | |
|---|-------|
| 東晋期仏教における言語と真理 | 丘山 新 |
| 「建安風力尽矣」小考
——桓温とその幕下の文学者集団について—— | 松岡 榮志 |
| 『観無量寿經』の諸本について | 末木文美士 |
| 『大般涅槃經集解』の基礎的研究 | 菅野 博史 |
| 自身を究竟するは仏身を究竟するなり
——『究竟大悲經』失題第五品について—— | 中嶋 隆蔵 |
| 『黄帝内經素問』のいわゆる運氣論諸篇についての初歩的考察
——六節藏象論篇・王冰増補部分、および天元紀大論篇
について—— | 松村 巧 |
| 六朝思想史を中心課題とする学术交流記 | 蜂屋 邦夫 |

3. 東洋文化研究所研究報告 (* 在庫なし)

- *1. 仁井田 陞 『中国の農村家族』 1952
- *2. 周藤 吉之 『中国土地制度史研究』 1954
- *3. 泉 靖一・斎藤 廣志 『アマゾン その国土と日本人』 1954
- *4. 大林 太良 『東南アジア大陸諸民族の親族組織』 1955
- *5. 結城 令聞 『世親唯識の研究 上』 1956
- *6. 関野 雄 『中国考古学研究』 1956
- *7. 窪 徳忠 『庚申信仰』 1956
- *8. 江上波夫他 『館址 東北地方における集落址の研究』 1958
- *9. 仁井田 陞 『中国法制史研究 刑法』 1959
- *10. 仁井田 陞 『中国法制史研究 土地法・取引法』 1960
- *11. 米沢 嘉圃 『中国絵画史研究』 1961
- *12. 結城 令聞 『唯識学典籍志』 1962
- 13. 仁井田 陞 『中国法制史研究 奴隸農奴法・家族村落法』 1962
- 14. 築島 謙三 『文化心理学基礎論』 1962
- *15. 窪 徳忠 『庚申信仰の研究 年譜篇』 1962
- *16. 仁井田 陞 『中国法制史研究 法と慣習・法と道德』 1964
- *17. 鎌田 茂雄 『中国華嚴思想史の研究』 1965
- *18. 江上 波夫 『アジア文化史研究 要説篇』 1965
- 19. 泉 靖一 『濟州島』 1966
- 20. 江上 波夫 『アジア文化史研究 論考篇』 1967
- *21. 鈴木 敬 『明代絵画史研究 浙派』 1968
- *22. 窪 徳忠 『庚申信仰の研究 島嶼篇』 1969
- *23. 中根 千枝 『家族の構造 社会人類学的分析』 1970
- *24. 窪 徳忠 『沖縄の習俗と信仰』 1971
- *25. 川野 重任 『農業発展の基礎条件』 1972

Ⅳ 研究活動

- *26. Nakamura Kojiro, *Ghazali on Prayer* 1973
- *27. 窪 徳忠 『増訂 沖縄の習俗と信仰』 1974
- *28. 鎌田 茂雄 『宗密教学の思想史的研究』 1975
- 29. 松井 透 『北インド農産物価格の史的研究, 1861~1921年』 1977
- *30. 荒 松雄 『インド史におけるイスラム聖廟 宗教権威と支配権力』 1977
- *31. 池田 温 『中国古代籍帳研究 概観・録文』 1979
- *32. 田仲 一成 『中国祭祀演劇研究』 1981
- 33. 松丸 道雄 『東京大学東洋文化研究所蔵甲骨文字 図版篇』 1983
- 34. 田仲 一成 『中国の宗族と演劇 華南宗族社会における祭祀組織・儀礼及び演劇の相関構造』 1985
- 35. 鎌田 茂雄 『中国の仏教儀礼』 1986

4. 東洋文化研究所叢刊

- *1. 鎌田 茂雄 『華嚴学研究資料集成』 1983
- 2. 深井 晋司編 『ターク・イ・ブスターンⅢ 実測図集成』 1983
- *3. 鎌田 茂雄 『禅典籍内華嚴資料集成』 1984
- 4. Nakane Chie ed., 『*Social Sciences and Asia*』. 1984
- *5. 蜂屋 邦夫編 『儀禮士冠疏』 1984
- 6. 鎌田 茂雄 『道蔵内仏教思想資料集成』 1986
- 7. 山田 三郎編 『中部タイ稲作農村の経済変容』 1986
- 8. 蜂屋 邦夫編 『儀禮士昏疏』 1986

5. イラク・イラン遺跡調査団報告

『テル・サラサートⅠ』 *1958, 『同Ⅱ』 1970, 『同Ⅲ』 1975, 『同Ⅳ』
1981

『マルヴ・ダシュトⅠ』 *1962, 『同Ⅱ』 1962, 『同Ⅲ』 1973

『ファハリアンⅠ』*1963

『西アジアの人類学的研究Ⅰ』1963, 『同Ⅱ』1968

『デーラマンⅠ』1965, 『同Ⅱ』1966, 『同Ⅲ』*1968, 『同Ⅳ』1971

『ターク・イ・ブスターンⅠ』1969, 『同Ⅱ』1972, 『同Ⅲ』1983, 『同Ⅳ』1984

『ハリメジャンⅠ』1980, 『同Ⅱ』1982

6. インド史跡調査団報告

『デリー：デリー諸王朝時代の建造物の研究』第Ⅰ巻 遺跡総目録
*1967, 第Ⅱ巻 墓建築 1969, 第Ⅲ巻 水利施設 1970

7. 東アジア部門美術研究分野報告

『中国絵画総合図録』第一巻 アメリカ・カナダ篇 *1982, 第二巻
東南アジア・ヨーロッパ篇 *1982, 第三巻 日本篇Ⅰ 博物館
*1983, 第四巻 日本篇Ⅱ 寺院・個人 *1983, 第五巻 総索引
*1983

8. 蔵書目録

『東洋文化研究所漢籍分類目録』1973

『東洋文化研究所漢籍分類目録 書名人名索引』1975

Ⅳ 研究活動

I 個人研究業績

汎アジア部門

山田 三郎

- 1971 『韓国工業化の課題』（編著）アジア経済研究所
- 1974 『アジア農業の生産性と生産構造——マクロ計量的国際比較分析——』『紀要』63
- 1975 *A Comparative Analysis of Asian Agricultural Productivities and Growth Patterns*, Asian Productivity Organization, Tokyo.
- 1975 *A Century of Agricultural Development in Japan, Its Relevance to Asian Development*, coauthored with Y. Hayami et al., University of Minnesota Press, Minneapolis, and University of Tokyo Press, Tokyo.
- 1980 “International Comparisons of Productivity in Agriculture” (coauthored with Vernon W. Ruttan), J. Kendrick and B. Vaccara eds., *New Developments in Productivity Measurement and Analysis*, Studies in Income and Wealth, Vol. 44, University of Chicago Press for the National Bureau of Economic Research, Chicago.
- 1981 「経済発展における普遍性と地域特性——アジア諸国経済発展の比較, 1960-78年——」『紀要』87
- 1982 『食糧需要の将来と農業政策』（アジア開発の経験と展望Ⅱ）（編著）アジア経済研究所
- 1982 *Labour Absorption and Growth in Agriculture, China and*

Japan, coauthored with S. Ishikawa & S. Hirashima, International Labour Organization, Asian Employment Programme, Bangkok.

- 1984 “The Role of Traditional Elements and Sectors in Economic Development”, C. Nakane ed., *Social Sciences and Asia*, 東洋文化研究所
- 1986 『中部タイ稲作農村の経済変容』（共著）東洋文化研究所

原 洋之介

- 1976 「ジャワ米穀経済への高収量品種の転移・普及・定着」『紀要』69
- 1978 「過渡期経済成長の類型化」『紀要』74
- 1981 「経済成長の加速度化：マレーシアと韓国の比較」『紀要』85
- 1981 「二者関係経済における労働市場の構造——タイ国工業化論序説——」『紀要』87
- 1981 『マレーシアの労働事情——新しい経済政策と労働社会の実態』日本労働協会
- 1981 “Institutional Changes in a Central Thai Village”, *The Developing Economies*, Vol. 19, No. 4.
- 1982 「タイ農村における労働雇用契約の形態」『紀要』90
- 1983 「東南アジア農村社会論」『東洋文化』63号
- 1984 “Relevance of Modern Economic Theory to Asian Development”, *Social Sciences and Asia*, 東洋文化研究所
- 1985 『クリフォード・ギアツの経済学』リプロポート

関 寛治

- 1966 『現代東アジア国際環境の誕生』福村書店
- 1969 『国際体系論の基礎』東京大学出版会

Ⅳ 研 究 活 動

- 1977 『地球政治学の構想』 日本経済新聞社
- 1981 『国際政治学を学ぶ』（編著） 有斐閣
- 1982 『朝鮮半島と国際関係』（編著） 晃洋書房
- 1982 「日本・ASEAN 関係の現代国際政治における位相」『紀要』 88
- 1985 『ロン・ヤス現象』 オリジン出版センター
- 1985 『同時代への視座』（共著） 三嶺書房
- 1985 “Militarization and Development”, in *Development as Social Transformation ; Reflections on the Global Problematique*, Hodder & Stoughton.
- 1985 “The Manchurian Incident”, James W. Morley ed., *Japan Erupts*, Columbia University Press,

猪口 孝

- 1970 『国際関係の数量分析：北京・平壤・モスクワ，1961年—1966年』 巖南堂書店
- 1978 『外交態様の比較研究：中国・英国・日本』 巖南堂書店
- 1978 “The Politics of Decrementalism : The Soviet-Japanese Salmon Catch Negotiations, 1955~1977”, coauthored with N. Miyatake, *Behavioral Science*, Vol. 23, No. 6.
- 1979 “Negotiation as Quasi-Budgeting : The Salmon Catch Negotiations between Two World Fishery Powers”, coauthored with N. Miyatake, *International Organization*, Vol. 33, No. 2.
- 1981 “Political Science in Japan”, W.G. Andrews ed., *International Handbook of Political Science*, Greenwood Press, Westport, Connecticut.
- 1982 『国際政治経済の構図』 有斐閣

- 1983 『現代日本政治経済の構図』 東洋経済新報社
 1985 『社会科学入門』 中央公論社
 1985 『国際関係の政治経済学』 東京大学出版会
 1986 『日本人の選挙行動』（共著） 東京大学出版会

友杉 孝

- 1976 「タイにおける土地所有の展開過程」 斎藤仁編『アジア土地政策論序説』 アジア経済研究所
 1976 「タイの灌漑農業」 福田仁志編『アジアの灌漑農業——その歴史と論理——』 アジア経済研究所
 1980 *A Structural Analysis of Thai Economic History: Case Study of a Northern Chao Phraya Delta Village*, Institute of Developing Economies, Tokyo.
 1980 「諏訪上社御柱祭りノート——歴史の隠喩——」 『東南アジア研究』 18-2
 1980 『溜池と社会形成——文化としての溜池——』 国際連合大学
 1981 “A Note on the Rural Community and Education in Thailand”, *East Asian Cultural Studies*, Vol. XX, Nos. 1-4.
 1982 『土地の商品化と貨幣の記号化——佐賀平坦部農村の社会史を事例として』 国際連合大学
 1983 「タイ農村社会における^{イチバ}市場とその多義性——比較経済体制論に向けて——」 『東洋文化』 63号
 1983 『新開地における社会形成と農協——北海道深川の事例——』 国際連合大学
 1984 「自然としての土地から商品としての土地へ——市場経済の発展を可能とした日本の条件——」 王城哲・旗手勲・今村奈良臣編『水利の社会構造』 東京大学出版会

Ⅳ 研究活動

中根 千枝

- 1962 “The Nayar Family in a Disintegrating Matrilineal System”,
International Journal of Comparative Sociology, Vol. III, No. 1,
E. J. Brill, Leiden.
- 1966 “A Plural Society in Sikkim—A Study of the Interrelations
of Lepchas, Bhotias and Nepalis”, Christoph von Fürer-
Haimendorf ed., *Caste and Kin in Nepal, India and Ceylon*,
Asia Publishing House, Bombay.
- 1967 *Kinship and Economic Organization in Rural Japan*, Mono-
graphs on Social Anthropology 32, London School of Eco-
nomics, The Athlone Press, London.
- 1967 *Garo and Khasi: A Comparative Study in Matrilineal Systems*,
Mouton & Co., Paris & The Hague.
- 1970 *Japanese Society*, Weidenfeld & Nicolson, and Penguin Books,
London; University of California Press, Berkeley.
- 1970 『家族の構造——社会人類学的分析——』東洋文化研究所
- 1973 「沖縄・本土・中国・朝鮮の同族・門中の比較」『沖縄の民族学研
究』日本民族学会
- 1980 「東南アジア的社会構造の特色 ——人間関係についての一試論
——」『山本達郎博士古稀記念 東南アジア・インドの社会と文
化』(下) 山川出版社
- 1982 *Labrang: A Study in the Field by Li An-che* (編) 東洋文化研
究所東洋学文献センター
- 1984 *Map of Lhasa: drawn by Zasad J. Taring*, (editor) University
of Tokyo Press.

関本 照夫

- 1974 「ギアツの宗教分析論をめぐって——宗教研究の方法に関する覚書——」『アジア経済』15-12
- 1976 「中部ジャワ農村の儀礼的食物交換——スラカルタ地方の事例より——」『国立民族学博物館研究報告』1-3
- 1978 「農業をめぐる人のカテゴリーと相互関係——中部ジャワの一事例」『国立民族学博物館研究報告』3-3
- 1978 「ジャワの家族と結婚式」『季刊民族学』6号
- 1979 “A Paddy-Growing Village in Central Java,” M. Kuchiba and L.E. Bauzon eds., *A Comparative Study of Paddy-Growing Communities in Southeast Asia and Japan*, Tokyo, Toyota Foundation.
- 1980 「二者関係と経済取引——中部ジャワ村落経済生活の研究——」『国立民族学博物館研究報告』5-2
- 1982 「サウイト事件の文化論的考察」鈴木中正編『千年王国的民衆運動の研究』東京大学出版会
- 1982 「ジャワ聖墓巡礼考——イスラームと土着的伝統主義——」中牧弘允編『神々の相克』新泉社
- 1983 “Social Gathering at Night: Forms of Communal Assembly in Java,” *East Asian Cultural Studies*, Vol. 22
- 1984 『村の時間と歴史——ジャワの王国と農民——』大林太良編『東南アジアの民族と歴史』〈民族の世界史6〉山川出版社

川崎 有三

- 1984 「マレーシア潮州人漁村の有力者たち」『民族学研究』49-1
- 1985 「死者との別れ——マレーシア潮州人漁村に見られる葬送儀礼の事例から——」『紀要』97

Ⅳ 研究活動

- 1985 「世帯サイクルのシステム論的分析——マレーシア潮州人漁村の事例から——」『アジア・アフリカ言語文化研究』30号
- 1985 「マレーシア型多民族社会システム安定化のための三つの仮設」『文化人類学』2号
- 1986 「学校教育制度のシステム論的分析 ——マレーシアの事例から——」『紀要』99
- 1986 「小コミュニティの社会位相空間論——マレーシア潮州人漁村に見られるリズム・テンポ・メロディー——」『東南アジア研究』24-1

東アジア部門（第一）

斯波 義信

- 1960 『宋史食貨志訳註（一）』（共著）平凡社
- 1968 『宋代商業史研究』風間書房 (*Commerce and Society in Sung China*, trl. by Mark Elvin, 1970, Ann Arbor, Michigan.)
- 1974 「中国都市史をめぐる研究概況」『法制史研究』23
- 1974 「宋代市糶制度の沿革」『青山博士古稀記念宋代史論集』省心書房
- 1975 “Urbanization and Development of Markets in the Lower Yangtze”, J. W. Haeger ed., *Crisis and Prosperity in Sung China*, The University of Arizona Press, Tucson, Arizona.
- 1976 『浙江湖州における定住の沿革』『木村英一博士頌寿記念中国哲学史の展望と模索』創文社
- 1977 “Ningpo and Its Hinterland”, G. W. Skinner ed., *The City in Late Imperial China*, Stanford University Press, Stanford.
- 1982 『函館華僑関係資料集』大阪大学文学部（紀要22）
- 1983 “Sung Foreign Trade, Its Scope and Organization”, M. Rossabi ed., *China Among Equals: The Middle Kingdom and Its Neighbors, 10th-14th Centuries*, The University of Califo-

rnia Press, Berkeley and Los Angels.

1983 『長江下游地区的水利系統』『歴史地理』 3

濱下 武志

1980 『中国近代経済史関係解題つき文献目録——海関資料を中心として——』（一橋大学細谷新治研究室）

1981 「清末中国における『銀行論』と中国通商銀行の設立——1897年、盛宣懐の設立案をめぐる批判と修正——」『一橋論叢』 85-6

1984 「中国幣制改革と外国銀行」『現代中国』 58号

1984 「世界資本主義とアジア民族資本」社会経済史学会編『社会経済史学の課題と展望——社会経済史学会設立50周年記念——』有斐閣

1984 「傳統社會與庶民金融——新加坡，馬來西亞華人社会的『合會』與『銀信滙兌』——」『關於東南亞華人傳統戲劇・曲藝綜合調査・研究——第二部新加坡・馬來西亞』東洋文化研究所

1985 「近代アジア貿易圏における銀流通——アジア経済史像に関する一構想——」『社会経済史学』 51-1

久保 亨

1980 『南京政府の関税政策とその歴史的意義』『土地制度史学』 22-2

1981 『幣制改革以降の中国経済』『中国幣制改革と国際関係』東京大学出版会

1981 「1930年代中国の関税政策と資本家階級」『社会経済史学』 47-1

1981 「日本の侵略前夜の東北経済——東北市場における中国品の動向を中心に——」『歴史評論』 377号

1982 「上海労働統計の紹介と簡単な検討」『中国労働運動史研究』 10号

Ⅳ 研究活動

- 1982 「戦間期中国経済史の研究視角をめぐって——“半植民地半封建”概念の再検討——」『歴史学研究』506号
- 1983 「中国国民政府による関税政策決定過程の分析, 1932-1934年」『紀要』92
- 1983 「国民政府の財政と関税収入, 1928-1937」『中国史における社会と民衆』汲古書院
- 1984 「南京政府成立期の中国国民党——1929年の三全大会を中心に——」『アジア研究』31-1
- 1985 「国民政府による関税自主権の回復過程」『紀要』98

池田 温

- 1959/60 「唐代の郡望表」『東洋学報』42-3, 4
- 1965 「8世紀中葉における敦煌のソグド人聚落」『ユーラシア文化研究』1号
- 1968 「中国古代物価の一考察」『史学雑誌』77-1, 2
- 1971 「盛唐之集賢院」『北海道大学文学部紀要』19-2
- 1973/75 「中国古代の租佃契（上）（中）」『紀要』60, 65
- 1979 『中国古代籍帳研究 概観・録文』東洋文化研究所
- 1980 『敦煌の社会』（編）〈講座敦煌3〉大東出版社
- 1981 『大唐開元禮附大唐郊祀録』（編）（第二刷）汲古書院
- 1981 「中国歴代墓券略考」『紀要』86
- 1984 「中国古代買田・買園券の一考察」『西嶋定生博士還暦記念 東アジア史における国家と農民』山川出版社

宮嵜 博史

- 1974 「朝鮮甲午改革以後の商業的農業」『史林』57-6
- 1975 「『土地調査事業』の歴史的前提条件の形成」『朝鮮史研究会論文

集』12集

- 1976 「韓国における『民族史学』について」『歴史学研究』439号
- 1977 「李朝後期農書の研究」『人文学報』（京都大学人文科学研究所）43号
- 1978 「朝鮮『土地調査事業』研究序説」『アジア経済』19-9
- 1980 「朝鮮農業史上における15世紀」『朝鮮史叢』3号
- 1981 「李朝後期における朝鮮農法の発展」『朝鮮史研究会論文集』18集
- 1982 「植民地下朝鮮人大地主の存在形態に関する試論」飯沼二郎・姜在彦編『植民地期朝鮮の社会と抵抗』未来社
- 1983 「李朝後期の農業水利」『東洋史研究』41-4
- 1984 「朝鮮史研究と所有論」『人文学報』（東京都立大学人文学部）167号

上田 信

- 1981 『明末清初、江南の都市の『無頼』をめぐる社会関係——打行と脚夫——』『史学雑誌』90-11
- 1983 「地域の履歴——浙江省奉化县忠義郷」『社会経済史学』49-2
- 1984 「地域と宗族——浙江省山間部」『紀要』94

松丸 道雄

- 1959 『甲骨文字』奎星会出版部
- 1959/80 「日本散見甲骨文字蒐彙」『甲骨学』7~12号
- 1963 「殷墟卜辞中の田獵地について」『紀要』31
- 1970 「殷周国家の構造」『世界歴史』第4巻 岩波書店
- 1980 『西周青銅器とその国家』（編）東京大学出版会
- 1980 「甲骨文偽作問題新探」『池田末利博士古稀記念東洋学論集』同事

Ⅳ 研究活動

業会

- 1982 『東京大学東洋文化研究所蔵・中国青銅器資料分類目録』第1冊
殷・西周篇（持井康孝氏と共編）東洋文化研究所
- 1983 『東京大学東洋文化研究所蔵甲骨文字 凶版篇』東洋文化研究所
- 1984 「西周後期社会にみえる変革の萌芽——罍鼎銘解釈問題の初歩的
解決——」『西嶋定生博士還暦記念 東アジア史における国家と
農民』山川出版社
- 1985 『中国文明の成立』（共著）講談社

谷 豊信

- 1983 「楽浪土城址の発掘とその遺構——楽浪土城研究その1——」『東
京大学考古学研究室紀要』2号
- 1984 「西晋以前の中国の造瓦技法について」『考古学雑誌』69-3
- 1984 「楽浪土城址出土の土器（上）——楽浪土城研究その2——」『東
京大学考古学研究室紀要』3号
- 1985 「楽浪土城址出土の土器（中）——楽浪土城研究その3——」『東
京大学考古学研究室紀要』4号

東アジア部門（第二）

鎌田 茂雄

- 1965 『中国華嚴思想史の研究』東洋文化研究所
- 1978 『宗密教学の思想史的研究』東洋文化研究所
- 1978 『中国仏教史』（岩波全書）岩波書店
- 1982 『中国仏教史 第一巻 初伝期の仏教』東京大学出版会
- 1983 『中国仏教史 第二巻 受容期の仏教』東京大学出版会
- 1983 『華嚴学研究資料集成』東洋文化研究所
- 1984 『禅典籍内華嚴資料集成』東洋文化研究所

- 1984 『中国仏教史 第三卷 南北朝の仏教（上）』 東京大学出版会
 1986 『道蔵内仏教思想資料集成』 東洋文化研究所
 1986 『中国の仏教儀礼』 東洋文化研究所

蜂屋 邦夫

- 1966 「中国的心性について——主として語義論的観点から——」『紀要
 比較文化研究』 6 輯
 1973 「范縝『神滅論』の思想について」『紀要』 61
 1977 「孫綽の生涯と思想」『東洋文化』 57 号
 1979 「戴逵について——その芸術・学問・信仰——」『紀要』 77
 1980 「孫盛の歴史評と老子批判」『紀要』 81
 1981 「言盡意論と言不盡意論」『紀要』 86
 1983 「太平経における言辞文書——共・集・通の思想——」『紀要』 92
 1984 『儀禮士冠疏』（編） 東洋文化研究所
 1985 『中国の思惟』 法蔵館
 1986 『儀禮士昏疏』（編） 東洋文化研究所

吉田 純

- 1985 「段玉裁の経学——学問と生涯——」『紀要』 98

尾上 兼英

- 1967/81 「明代白話小説ノート(1), (2-1)」『紀要』 44, 86
 1970 「庶民文化の誕生」『世界歴史』 第9巻 岩波書店
 1978 「東南アジア華人社会における演藝」『紀要』 75
 1978 「『成化説唱詞話』試論1」『東洋文化』 58号
 1980 「東南アジア華人社会の傳統藝能」『紀要』 82, 83
 1981 「謝小娥伝その他」伊藤漱平編『中国の古典文学』 東京大学出版

Ⅳ 研究活動

会

- 1982 “Puppet theatre and story-telling art in Hong Kong”, K. ONOE ed., *Research on Chinese Traditional Entertainments in Southeast Asia*, 東洋文化研究所
- 1983 「日本華僑社会における藝能の変容」山田信夫編『日本華僑と文化摩擦』巖南堂
- 1984 「香港における中国傳統藝能」可児弘明編『香港』弘文堂
- 1984 『關於東南亞華人傳統戲劇・曲藝 綜合調査・研究』第二部 新加坡・馬來西亞 東洋文化研究所

田仲 一成

- 1970 「南宋時代の福建地方劇について」『日本中国学会報』22号
- 1972 “Development of Chinese Local Plays in the 17th and 18th Centuries”, *Acta Asiatica*, No. 23.
- 1973/77 「十五・六世紀を中心とする江南地方劇の変質について」『紀要』60, 63, 65, 71, 72
- 1977 “A Study on P‘i-p‘a chi in Hui-chou Drama—Formation of Local Plays in Ming and Ch‘ing Eras and Hsin-an Merchants—” *Acta Asiatica*, No. 32.
- 1981 『中国祭祀演劇研究』東洋文化研究所
- 1981 「清代の会館演劇について」『紀要』86
- 1985 『中国の宗族と演劇』東洋文化研究所
- 1985 “The Social and Historical Context of Ming-Ch‘ing Local Drama”, David Johnson, Andrew J. Nathan, & Evelyn S. Rawski eds., *Popular Culture in Late Imperial China*, California University Press.

大木 康

- 1984 「明末における白話小説の作者と読者について」『明代史研究』12号
- 1985 「馮夢龍『三言』の編纂意図について——特に勸善懲悪の意義をめぐって——」『東方学』69輯
- 1986 「馮夢龍『三言』の編纂意図について（続）——“真情”より見た一例面——」『伊藤漱平教授退官記念中国学論集』汲古書院

戸田 禎佑

- 1973 『牧谿・玉潤』講談社
- 1975 『梁楷・因陀羅』（川上涇・海老根聡郎両氏と共著）講談社
- 1977/83 『海外・日本所在中国絵画目録』（共編）全5冊 東洋文化研究所
東洋学文献センター
- 1981 「二祖調心図再考」『鈴木敬先生還暦記念 中国絵画史論集』吉川弘文館
- 1981 「劉松年の周辺」『紀要』86
- 1982 「模写性について」『ミュージアム』380号
- 1983 『中国の花鳥画と日本』（小川裕充氏と共著）学習研究社

南アジア部門

松井 透

- 1968 「近代西欧のアジア観と植民地支配論」『思想』530号
- 1969 『インド史における土地制度と権力構造』（共編著）東京大学出版会
- 1969 *The Indian Economy in the Nineteenth Century: A Symposium*, coauthored with M.D. Morris et al. Indian Economic and Social History Association, Delhi.

Ⅳ 研究活動

- 1972 『インド土地制度史研究』（編著）東京大学出版会
- 1977 『北インド農産物価格の史的研究（上）・（下）』東洋文化研究所
- 1978 *A Concordance of the Names in the Cola Inscriptions*, coauthored with N. Karashima and Y. Subbarayalu, Sarvodaya Ilakkkiya Pannai, Madurai.
- 1980 「19世紀北インド農業一考」『山本達郎博士古稀記念 東南アジア・インドの社会と文化』（下）山川出版社
- 1982 「英領期ベンガル農業統計研究」『紀要』88
- 1982 『HISTAPS——史的データの処理・分析のために——』東洋文化研究所
- 1985 “Bengal Agriculture (1900-1920), A Quantitative Study of Colonial Economic Development”, *The Calcutta Historical Journal*, Vol. IX, No. 2.

加納 啓良

- 1977 *Land Tenure System and the Desa Community in Nineteenth Century Java*, I. D. E. Special Paper No.5, Institute of Developing Economies.
- 1979 『バグララン——東部ジャワ農村の富と貧困——』アジア経済研究所
- 1979 「ジャワ農村経済史研究の視座変換——“インボリューション・テーゼ”の批判的検討——」『アジア経済』20-2
- 1981 『サワハン——「開発」体制下の中部ジャワ農村——』アジア経済研究所
- 1981 「ジャワにおける水稲生産の地域構造——1920年と1977年の生産統計比較——」『紀要』87
- 1981 「ダゲン——イスラーム・カルヤワンの村の社会経済構造——」

『経済学論集』（東京大学経済学部）47-3

- 1982 「インドネシアにおける“土地なし”農村世帯の存在形態」滝川勉編『東南アジア農村の低所得階層』アジア経済研究所
- 1983 「『二重経済』と『農業インボリューション』を超えて——『農民的自給生産』再考——」『東洋文化』63号
- 1984 「ジャワ農民農業の地域的差違とその変容——二つの収穫面積統計の比較検討——」『紀要』96
- 1985 『「内務行政雑誌」所収論文・記事目録 (A Catalogue of the Articles in, Tijdschrift voor het Binnenlandsch Bestuur)』東洋文化研究所東洋学文献センター

土佐 弘之

- 1984 「東南アジアの経済構造, 従属と開発強権政治体制」(修士論文)

山崎 利男

- 1974/75 「ラームモーハン=ローイの司法制度論」『紀要』64,66
- 1979 「インドの銅板文書の形成とそのはじまりについて」『紀要』73
- 1982 「4-12世紀におけるバラモンの村落享有の確認とその消滅」『紀要』86
- 1982 「インドにおける中世世界の成立」『中世史講座1』学生社
- 1982 “Some Aspects of Land-Sale Inscriptions in Fifth and Sixth Century Bengal”, *Acta Asiatica*, 43.
- 1984 「南アジア総論」・「インド(古代)」『アジア歴史研究入門5』同朋舎
- 1985 『悠久のインド』〈ビジュアル版 世界の歴史4〉講談社
- 1985 「ヒンドゥー法」『中世史講座4』学生社
- 1985 R. S. シャルマ『古代インドの歴史』(山崎元一氏と共訳) 山川出

Ⅳ 研究活動

版社

1986 「1947年インド独立法の研究(1)」『紀要』100

柳澤 悠

1971 「十八世紀末南インドにおける土地所有関係」松井透編『インド土地制度史研究』東京大学出版会

1971/72 「インド在来織物業の再編成とその諸形態(Ⅰ)(Ⅱ)」『アジア経済』12-12; 13-2

1975 「インドにおける賃労働の存在形態——『労働調査委員会報告』にみる——」山口博一編『インドの経済政策と諸階層』アジア経済研究所

1976 「南インドにおける地主=小作関係の展開」辛島昇編『インド史における村落共同体の研究』東京大学出版会

1978 「旧マドラス州タンジョール県における『農業労働者』と小作人」『南アジア農村社会の研究』No.1 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

1979 「19世紀末南インドの農業生産と農業労働者」『横浜市立大学論叢』人文科学系列 30-2/3 合併号

1979 「南インドにおける対『アウト・カースト』経済政策の展開」『経済と貿易』(横浜市立大学経済研究所) 127号

1980 「第一次目印会商をめぐる英印関係」『経済と貿易』(横浜市立大学経済研究所) 129号

1981 『南インド・カーヴェリ河流域の農村社会の史的変容 (*Studies in Socio-Cultural Change in Rural Villages in Tiruchirapalli District, Tamilnadu, India*, No.3)』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

1984 *Socio-Economic Changes in a Villge in the Paddy Cultivating*

Area in South India, Socio-Cultural Change in Villages in Tiruchirapalli District, Tamilnadu, India, Part II. No. 2, Institute for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign Studies.

竹中 千春

- 1983 「植民地国家の体制と危機——インド・ナショナリズムの位相, 1916-1935——」(法学部助手論文)

上村 勝彦

- 1972 「インド古典詩論における詩作の条件」『東方学』43 輯
- 1974 「インド古典における文学理論と言語哲学の接点」『東方学』48 輯
- 1975/76 “Bhaṭṭa Narasiṃha’s Sarasvatikaṇṭhābharāṇa-vyākhyā”, I, *Buddhist Studies*, Vol. V.
Ⅱ -1, *Studies in Buddhist Thought* (奥田慈応博士記念論集)
Ⅱ -2, 3, *Journal of Indian Buddhist Studies*, 24-1, 25-1.
- 1978 『屍鬼二十五話』〈東洋文庫 325〉平凡社
- 1980 『パンチャタントラ』(共訳)〈アジアの民話 12〉大日本絵画
- 1981 『インド神話』東京書籍
- 1982 『インドの詩人』春秋社
- 1982 “Bhaṭṭa Narasiṃha’s Sarasvatikaṇṭhā bharāṇa-vyākhyā”, Ⅲ -1, *Brahmavidyā*, (The Adyar Library Bulletin) Vols, 44, 45.
- 1984 「アルタシャーストラにおける saṃgha の意味」『印度学仏教学研究』32-1
- 1984 『カウティリヤ実利論』(上)(下)岩波文庫

Ⅳ 研究活動

西アジア部門

板垣 雄三

- 1959 『アラブの現代史』（中岡三益氏と共著）東洋経済新報社
- 1963 「オラービー運動（1879-1882）の性格について」『紀要』31
- 1968 「〈アラブ社会主義〉における Tabāqa（階級）認識について」
『アジア・アフリカ言語文化研究』1
- 1971 「イスラム改革思想」『世界歴史』第21巻 岩波書店
- 1973 「民族と民主主義」『歴史における民族と民主主義』青木書店
- 1974 『アラブの解放』（編著）平凡社
- 1978 『中東ハンドブック』（編著）講談社
- 1980 「アラブの政治文化と国民形成」『国民国家の形成と政治文化』岩波書店
- 1983 「東方問題再考」『歴史評論』393
- 1984 『パレスチナ人とユダヤ人』（吉田悟郎氏と共編）三省堂

鈴木 董

- 1978 「オスマン・トルコ社会思想の一側面——有機体的社会観の展開——」『イスラム世界』14号
- 1981 「中東イスラム世界に於ける国際体系の伝統と西洋の衝撃」『国際政治』67号
- 1983 「現代中東における共存様式の崩壊と国際紛争——キプロス紛争を中心として——」『国際政治』73号
- 1983 「軍事・行政制度——オスマン帝国の場合——」『中近東文化センター研究会報告』4号
- 1985 「トルコ——発展と連合政治の危機——」宮治一雄編『中東の開発と統合』アジア経済研究所

- 1985 「権力構造と『家』——オスマン帝国の場合——」『中近東文化センター研究会報告』6号
- 1986 「官僚の世界」『講座イスラム3』筑摩書房

松谷 敏雄

- 1969 「初期農耕村落の研究」『紀要』47
- 1972 「ピゼとチネ」『紀要』58
- 1973 *Marv-Dasht III* (編) 東洋文化研究所
- 1974 「西アジアの特異な石器〈サイド・ブロー=ブレイド・フレイク〉」『東洋文化』54号
- 1975 *Telul eth-Thalathat III* (編) 東洋文化研究所
- 1977 “Excavations at Telul eth-Thalathat, 1976”, *Sumer*, XXXII, No. 1.
- 1980 *Halimehjan I* (編) 東洋文化研究所
- 1981 *Telul eth-Thalathat IV* (編) 東洋文化研究所
- 1982 *Halimehjan II* (編) 東洋文化研究所
- 1982 「再び〈サイド・ブロー=ブレイド・フレイク〉について」『紀要』88

鎌田 繁

- 1977 「サッラージュの神秘階梯説」『オリエント』20-1
- 1979 「サッラージュによるスーフィーの理想的生活について」『日本オリエント学会創立二十五周年記念オリエント学論集』刀水書房
- 1982 “Nābulusī’s Commentary on Ibn al-Fāriḍ’s *Khamriyah*”, *Orient*, Vol. 18.
- 1983 「ズィクル dhikr をめぐるイブン・アラビーの冥想」『宗教研究』57-3

Ⅳ 研究活動

- 1983 “A Study of the Term *Sirr* (*Secret*) in Sufi *Latā'if* Theories”,
Orient, Vol. 19.
- 1984 『モッラー・サドラーの靈魂論——『真知をもつ者たちの靈藥』
校訂・訳注並びに序説——』イスラム思想研究会
- 1984 「クルアーン第二四章第三五節（「光の節」）の神秘主義的注釈に
ついて」『日本オリエント学会創立三十周年記念オリエント学論
集』刀水書房
- 1985 「モッラー・サドラーの輪廻 (*tanāsukh*) 思想」『イスラム世界』
23・24号
- 1985 「シーア派の発展」『講座イスラム1』筑摩書房
- 1986 「モッラー・サドラーの『万有帰神論』訳注」『紀要』100

J 図 書

本研究所は、アジア諸地域に関する図書を約36万冊、雑誌を約4,300種所蔵している。とくに漢籍は今日収集不可能な貴重なものが多く、日本で有数のコレクションである。その他の分野の図書・雑誌も鋭意収集に努め、近年着実に増加している。それらは研究者に公開され、本研究所2階の閲覧室には毎年約8,000名の閲覧者がある。

本研究所蔵の図書・雑誌数は、昭和60年4月1日現在、次のとおりである。(但し整理中のものは含まない)

和・中・朝文図書	305,193冊	
欧文図書	53,265冊	計358,458冊
和文雑誌	1,717種	
朝文雑誌	253種	
中文雑誌	1,543種	
欧文雑誌	827種	計4,340種

このほか、マイクロフィルム1,908リール、マイクロ・フィッシュ約4万シートを所蔵する。

主要所蔵図書

〔大木文庫〕 本研究所創設の当初に、大木幹一氏より中国法制関係書総数3,168部、45,452冊の寄贈を受けた。法律のみならず、政治、外交、経済、産業と研究上の貴重書が多く、明代以後の時期の研究にはとくに欠くことのできない蒐集資料である。いわゆる官箴や公牘の類の数百部は、本文庫のひ

Ⅳ 研究活動

とつの柱梁をなしている。その目録は昭和34年に旧蔵者の稿本にもとづき編纂，刊行された。

〔帝国学士院東亜諸民族調査室旧蔵書〕 昭和19年帝国学士院東亜諸民族調査室の解散にともない，その蔵書の和漢洋書・雑誌・資料等2,000冊が移管された。このなかには西欧におけるアジア諸民族研究の主要な文献が集められている。

〔東方文化学院旧図書〕 東方文化学院東京研究所は，昭和4年に東方文化に関する研究機関として創設され，外務省の所管に属したが，昭和23年廃せられた。昭和42年3月，その旧蔵書と和漢洋書あわせて103,587冊が本研究所に移管された。

〔松本忠雄氏旧蔵書〕 昭和25年度科学研究費交付金により，松本忠雄氏旧蔵の和漢洋書，雑誌など3,000冊を購入した。これはとくに近代中国研究資料として重要なものを多く含んでいる。

〔長沢規矩也氏旧蔵書〕 昭和26・28両年度科学研究費交付金により，長沢規矩也氏旧蔵の約3,000冊を購入した。その内容は明清時代の戯曲小説類で，貴重書も少なくなく，中国文学研究上重要な資料である。昭和36年11月本研究所創立20年に当り，同氏から約150冊の補充を得るとともに『雙紅堂文庫分類目録』を刊行した。

〔清野謙次氏旧蔵書〕 昭和27・28両年度科学研究費交付金により，清野謙次氏旧蔵洋書750冊を購入した。人類学・考古学関係のものを根幹とする貴重なコレクションであり，昭和53年3月に分類目録を刊行した。

〔矢吹慶輝氏旧蔵書〕 昭和27年度科学研究費交付金により，矢吹慶輝氏旧蔵洋書約360冊を購入した。英・仏・独のマニ教関係の文献がその中心をなし，他に仏教遺跡の発掘報告書も含まれている。

〔下中文庫〕 下中弥三郎氏より，昭和28年1月から32年6月に至るまで，戦後出版の中国書4,500冊，中国雑誌10種及び戦後出版の東洋関係洋書130冊を受贈した。とくに中国書は当時入手できた書の主要なものをほとん

ど網羅し、戦後の中国研究に関する重要な資料である。

〔東京銀行調査部旧蔵資料〕 昭和34・35両年度にわたり、東京銀行調査部所蔵の経済関係書を主とする和洋書・資料類約18,000冊の寄贈を受けた。

〔仁井田陞氏旧蔵書〕 本研究所名誉教授仁井田陞氏の逝去（昭41・6・22）後、所蔵の中国書5,000冊、洋書120冊、和書2,200冊、清代公私文書類900余点、50基の碑文の拓本を受入れた。これらの図書資料は、大木文庫とともに旧中国の社会研究に極めて重要なものである。

〔我妻栄氏旧蔵資料〕 我妻栄氏の逝去（昭和48年10月）後、所蔵の和洋法学文献および各種資料が東京大学に寄贈された際、本研究所はとくにアジア法制関係文献資料総数647部932冊の寄贈を受けた。その目録は昭和57年3月「我妻栄先生旧蔵アジア法制関係文献資料目録」として刊行した。

〔倉石武四郎氏旧蔵書〕 昭和50年度に本学名誉教授倉石武四郎氏の漢籍を主とする蔵書を収蔵することとなり、昭和56年度までにその重要な部分、漢籍約4,300点などを購入した。

〔江上波夫氏旧蔵書〕 昭和56・57・59年度にわたり、本研究所名誉教授江上波夫氏の蔵書のうち、歴史学、民族学、考古学を中心とした洋書（露文を含む）の一部を購入した。今後も引き続き購入を予定している。

以上の各コレクションのほか、昭和33年度から3カ年にわたって文部省科学研究費により、総合研究「アジア地域の社会・経済構造」の一環として、その資料（主として洋書）1,800冊を購入し、さらに昭和36年度から40年度まで機関研究および特定研究「アジア社会の近代化と文化の変動」において、継続して資料の蒐集に努め、総数4,771冊に達した。

Ⅳ 研究活動

K 資料

本研究所の収蔵する諸種の資料のうち、重要なものを以下に掲げる。

〔殷代甲骨〕 本研究所蔵甲骨は、次の3部分から成る。第1は、故河井仙郎氏旧蔵の1,708片で、これは昭和54年に現蔵者井上富美子氏より寄贈された。第2は故田中慶太郎氏旧蔵の393片で、これは昭和54年に購入した。第3は旧蔵者三浦清吾より寄贈された2片である。合計2,103片に達し、京都大学人文科学研究所に次ぐ、わが国有数の蒐集である。これらは、整理・綴合の上、松丸道雄『東京大学東洋文化研究所蔵甲骨文字 図版篇』（東洋文化研究所報告 1983）として刊行された。考釈篇は続刊の予定である。

〔中国歴代古銭・銭范〕 旧東方文化学院の蒐集品で、殷代の貝貨、戦国時代の布銭・刀銭・郢爰からはじまり、歴代の代表的貨幣を収蔵する。約1,250点の古銭と、10点余の銭の范模を含んでいる。現在、整理中である。

〔中国考古資料〕 上記の殷墟出土甲骨片、古銭以外に、瓦当約110点があり、また鏡、戈、戟、鏹など青銅器、玉器、土器、磚、磚製買地券、壁面片、俑、仏像、衣服、室内装飾品、土俗品がある。その大部分は旧東方文化学院が購入し、本研究所に移管されたものである。

〔中国絵画資料（原版・焼付写真・カラースライド等）〕 米国、カナダ、欧州諸国、東南アジア諸国の美術館、個人蒐集家が所蔵する中国絵画および日本に現存している中国絵画に関するものが主体となっており、その他に米国ミシガン大学アーカイヴより購入した中国絵画の焼付写真、東京国立文化財研究所原版からの焼付写真等があって、現在、中国絵画に関する写真資料の蒐集としては世界有数の質量を備えている。これらの資料については、「東洋学文献センター叢刊」として5冊の目録が昭和52～58年に刊行され、また図録は『中国絵画総合図録』（5巻）として東京大学出版会より昭和57

～58年に刊行された。

〔中国清代・民国期の文書資料〕 17・18世紀より20世紀に及ぶ、北京をはじめ嘉興、武進、蘇州、通州、鳳山、宝応などにおける土地文書を中心とし、その他公私文書類約二千数百点を収蔵している。仁井田陞名誉教授旧蔵遺贈分や旧東亜研究所収集文書等を含む。現在東アジア部門の歴史・経済・政治関係者が所外の研究者と協力して整理中であり、その一部分は、昭和58年10月に『東洋文化研究所所蔵中国土地文書目録・解説（上）』（東洋学文献センター叢刊）として刊行され、続編は編集中である。

〔内蒙古出土学術資料〕 本研究所名誉教授江上波夫氏が戦前に内蒙古で発掘・採集された資料約一万点が昭和58年度に寄贈された。これらは主として土器片・陶器片などであり、今日では入手しがたい貴重な資料である。これらの資料の一部は氏のいくつかの論文に掲載されているが、他の圧倒的多数は未発表のものであって、将来の公刊が望まれる。

〔中世インド・イスラム史跡調査関係資料〕 デリーおよびインド各地に現存するいわゆるサルタナット時代のムスリム遺跡に関する資料で、各種サイズの写真、実測図などが主なものである。これらの資料は昭和34～37年度に「東京大学インド史跡調査団」が実施した2回にわたる現地調査の成果の一部で、とくにニューデリーとその周辺地域に現存する建造物の資料は、今日消滅してしまったものが多く、諸外国に見られない貴重な資料を含んでいる。

〔西アジア考古資料〕 人類文明の起源、東アジアおよび日本古代文明の源流としての古代イラン文明の研究を目的として、昭和31年以来、東京大学イラク・イラン遺跡調査団がイラク・イラン両国における遺跡14箇所の発掘・調査の結果収集したものである。その数は数万点に達し、これらはここ10年来各国が遺物の分与、流出を厳禁している今日では甚だ貴重な資料である。特にその大部分は発掘品で、考古学上第一級資料である。内訳は、

- (1) 石器類。旧石器時代から新石器時代に及ぶ各種の石器、特に半月形石

Ⅳ 研究活動

刃や梯形石刃が数千点に達している。

- (2) 土器類。数万点の多種多様の有文土器片と完形品は、新石器時代の文様研究の上ばかりではなく、当時の生活や宗教を考える上で重要な資料である。また、青銅器時代末期からパルティア時代の遺跡デーラマンからの灰黒土色や赤褐色土器の完成品を多数所蔵し、そのなかには中国の黒陶と類似するものもあり、学界の注目を受けている。
- (3) 骨角器。数は少ないが、錐、針、篋等がある。
- (4) 銅製品。主として前記のデーラマンから出土した数十本の銅剣、銅鏃、銅矛などの利器の外に、鏡、轡、皿、鉢、釧、指輪、安全ピン、胸当、針、髪飾のピン、動物像などがある。
- (5) 鉄製品。デーラマンの古墓から出土した鉄剣、鉄刀子、鉄矛が多数ある。
- (6) 金銀製品。金製帯、金製装身具（ペンダント・首飾用の玉類）などがある。
- (7) ガラス製品。ガラス瓶、ガラス玉等。
- (8) 玉類。瑪瑙製玉、トルコ玉など、石質の種類は少ないが、数は多い。
- (9) 建造物類。ドウラ・ユーロポスの騎馬人物のストゥッコ、同じく壁画断片、パルミラの建築装飾断片、ペルセポリスなどの建築装飾品断片などがある。
- (10) 其の他。粘土板文書、土製釘、印章類、形象土器、イスラム陶器など多数所蔵している。

V 東洋学文献センター

本文献センターは、東洋学に関する文献・情報を収集し、国内外の研究者に対し、各種のドキュメンテーション・サービスを行なうことにより、アジア研究の格段の発展を期するものとして、昭和41年度に本研究所に設置された。発足以来、以下の各項の諸事業にとりくんできた。

1. 基本資料の収集

昭和41年から3ヵ年計画で、近・現代中国、朝鮮刊行物等若干の資料収集と整理を進め、一応所期の目的を達成したのち、引き続き、次の三種類の文献につき、その収集に努めている。

- (1) 中国・朝鮮の近・現代文献、特に逐次刊行物
- (2) 旧中国の政治・法律文献
- (3) 旧中国の戯曲・小説文献

昭和56年度からは、近現代中国資料複製整備費により、新聞・雑誌のプリント類を収集し、閲覧に供している。

2. 『東洋文化研究所漢籍分類目録』の編纂

昭和42年以来、本研究所漢籍分類目録の編纂事業を推進し、昭和47年度に『本文篇』(A4版, 1,174頁)、次いで昭和49年度に『索引篇』(A4版書名索引352頁, 人名索引446頁, 検字表39頁, 計837頁)を刊行した。

本目録は一研究所の蔵書目録たるにとどまらず、古籍・新書を共に含む中国文献のコレクション分類目録として利用価値がたかく需要が多いので、昭

和 56 年に誤植・誤記を修正して合冊縮印版を刊行した。

3. 『東洋学文献センター叢刊』の編纂，刊行

東洋学研究者のための書誌，資料等のドキュメンテーション活動として，昭和 42 年度以来，本叢刊を編纂，刊行し，昭和 60 年度までに，第 47 輯（他に B5 版の別輯 13 点）に達した。（* は在庫なし）

- *第 1 輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録（昭和 41 年度）1968
- *第 2 輯 清代地方劇資料集（一）1968
- *第 3 輯 清代地方劇資料集（二）1968
- *第 4 輯 周揚著訳論文・周揚批判文献目録 1969
- *第 5 輯 郁達夫資料 1969
- *第 6 輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録（昭和 42・43 年度）1970
- *第 7 輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（上）1970
- *第 8 輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（中）1970
- *第 9 輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（下）1970
- *第 10 輯 李大釗文献目録 1970
- *第 11 輯 明刊元雜劇西廂記目録 1970
- *第 12 輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇・編著者名索引 1970
- *第 13 輯 魯迅全集注釈索引 1971
- *第 14 輯 1930 年代中国文芸雑誌（一）1971
- *第 15 輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事編（I）1972
- *第 16 輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（II）1972
- *第 17 輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（III）1972
- 第 18 輯 郁達夫資料補篇（上）1973
- *第 19 輯 切韻殘卷諸本補正 1973

- *第20輯 目録学 1973
- 第21輯 花間集索引 1974
- 第22輯 郁達夫資料補篇 (下) 1974
- *第23輯 仁井田陞博士輯北京工商ギルド資料集 (一) 1975
- 第24輯 江西蘇区文学運動資料集 1976
- *第25輯 仁井田陞博士輯北京工商ギルド資料集 (二) 1976
- 第26輯 民国以来人名字号別名索引 1977
- 第27輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事総目 (一) 1978
- 第28輯 仁井田陞博士輯北京工商ギルド資料集 (三) 1978
- 第29輯 中国左翼文芸理論における翻訳・引用文献目録 1978
- 第30輯 仁井田陞博士輯北京工商ギルド資料集 (四) 1979
- 第31輯 儀礼疏攷正 (上) 1979
- 第32輯 儀礼疏攷正 (下) 1979
- 第33輯 仁井田陞博士輯北京工商ギルド資料集 (五) 1980
- 第34輯 小説月報 (1920-1931) 総目録 1980
- 第35輯 コミンテルン定期刊行物中国関係論説・記事索引 1981
- 第36輯 魯迅文言語彙索引 1981
- 第37輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事総目 (二) 1981
- 第38輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事総目 (三) 1982
- 第39輯 仁井田陞博士輯北京工商ギルド資料集 (六) 1983
- 第40輯 東洋文化研究所所蔵中国土地文書目録・解説 (上) 1983
- 第41輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事総目 (四) 1983
- 第42輯 校合本 大越史記全書 (上) 1984

V 東洋学文献センター

- 第43輯 『植民地雑誌』(Koloniaal Tijdschrift) 所収論文目録 1984
- 第44輯 校合本 大越史記全書 (中) 1985
- 第45輯 江西蘇区紅色戲劇資料集 1985
- 第46輯 宋之間詩索引 1985
- 第47輯 校合本 大越史記全書 (下) 1986
-
- 別輯1 東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録書人名索引・京都大学
人文科学研究所漢籍分類目録書人名通検合併 四角号碼檢字
表 1975
- 別輯2 海外所在中国絵画目録 (アメリカ・カナダ編) 1977
- 別輯3 海外所在中国絵画目録 (東南アジア・ヨーロッパ編) 1981
- 別輯4 日本所在中国絵画目録 (寺院編) 1982
- 別輯5 LABRBNG 李安宅の調査報告 1982
- 別輯6 日本所在中国絵画目録 (博物館編) 1982
- 別輯7 日本所在中国絵画目録 (個人蒐集編) 1983
- 別輯8 中国経済関係雑誌記事総目録 (一) 1983
- 別輯9 孟郊詩索引 (上) 1984
- 別輯10 孟郊詩索引 (下) 1984
- 別輯11 中国経済関係雑誌記事総目録 (二)——『国際貿易導報』——
1985
- 別輯12 中国経済関係雑誌記事総目録 (三)——『中行月刊』——1985
- 別輯13 『内務行政雑誌』所収論文・記事目録 (A Catalogue of the
Articles in *Tijdschrift voor het Binnenlandsch Bestuur*) 1986

4. 「センター通信」の編集, 刊行

センターの活動を広く利用者に知らせるとともに, 利用者の意見を載せる場として, 「センター通信」(年1~2回, 不定期)を編集, 刊行し, 昭和61

年3月現在、第26号に達している。

5. 国内漢籍所在調査

全国漢籍総合目録作成の準備作業として、各地に未整理のまま散在する漢籍の所在を調査し、カードを作る仕事を昭和46年度の予備調査開始以来継続推進してきた。昭和61年3月現在、すでに八戸市立図書館・長崎大学附属図書館経済学部分館・熊本大学附属図書館落合文庫・新潟県立新潟図書館・新発田市立図書館・愛媛大学附属図書館の所蔵漢籍について分類目録を作成し、漢籍所在調査報告書計4冊を刊行したほか、宮城県図書館・千葉県立中央図書館・新潟大学附属図書館・高知大学附属図書館等数機関の所在調査を行なった。

6. 東洋文化研究所未収漢籍のマイクロ蒐集

『東洋文化研究所漢籍分類目録』編纂の過程で、20数万冊の蔵書の構成に若干の片寄りがあり、特に経部・集部・叢書部に補充すべき書物の少なくなることが明らかとなったので、昭和50年度以降、他機関所蔵で本研究所の未収書をマイクロフィルムで補充する計画を推進し、すでに京都大学人文科学研究所所蔵漢籍叢書等、ネガ、ポジあわせて1,700余リールを収蔵するに至った。

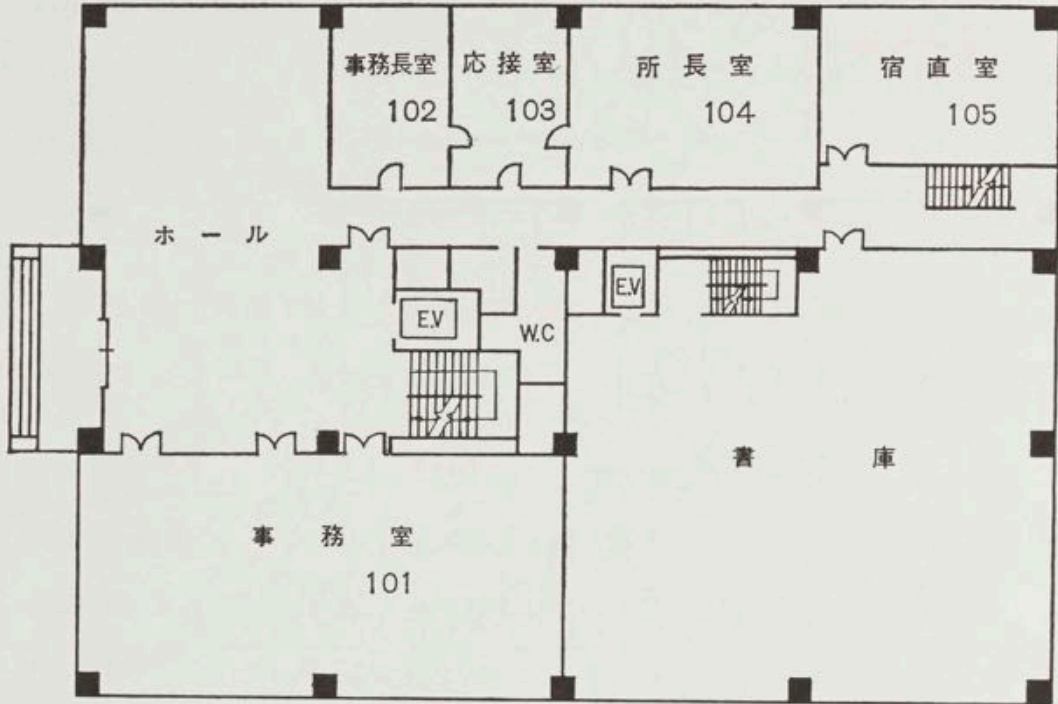
7. 漢籍担当職員講習会および漢籍整理長期研修

昭和47年から全国各地の漢籍担当職員に対し、文部省と共催で漢籍目録実務の講習を実施し、56年度までに計10回、受講者は105機関、のべ224人に達し終了した。

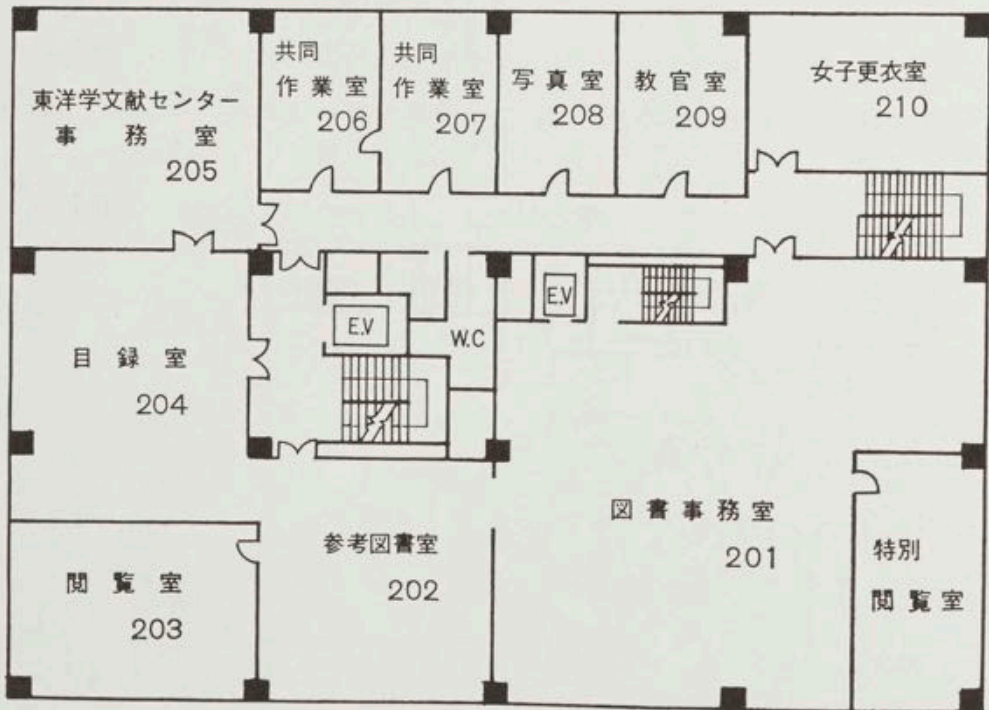
なお昭和55年度からは、諸大学図書館の漢籍整理担当職員に対して、講義と実習の両面にわたる個別指導を行ない、漢籍整理の専門知識と技能の向上をめざす長期研修を実施し、すでに13機関20名の受講者が参加した。

建物配置図

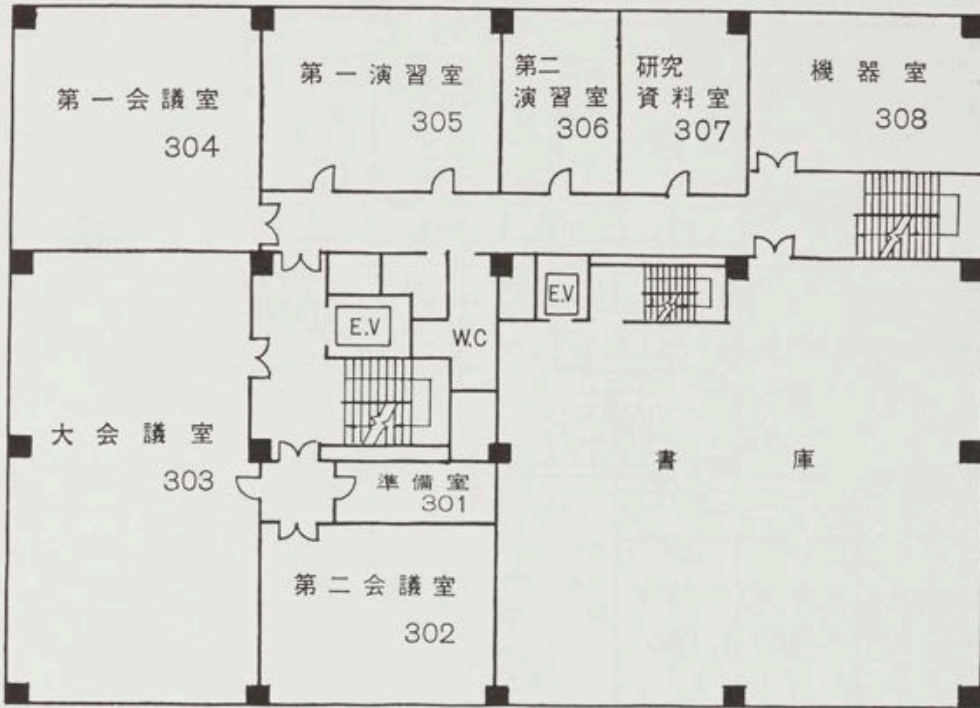
1階



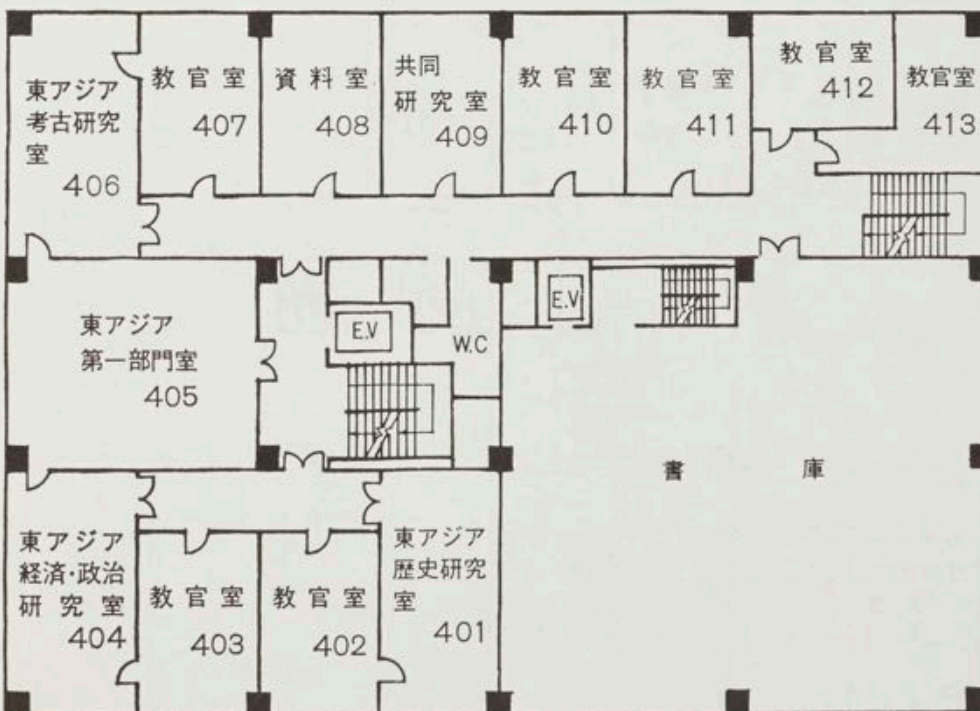
2階



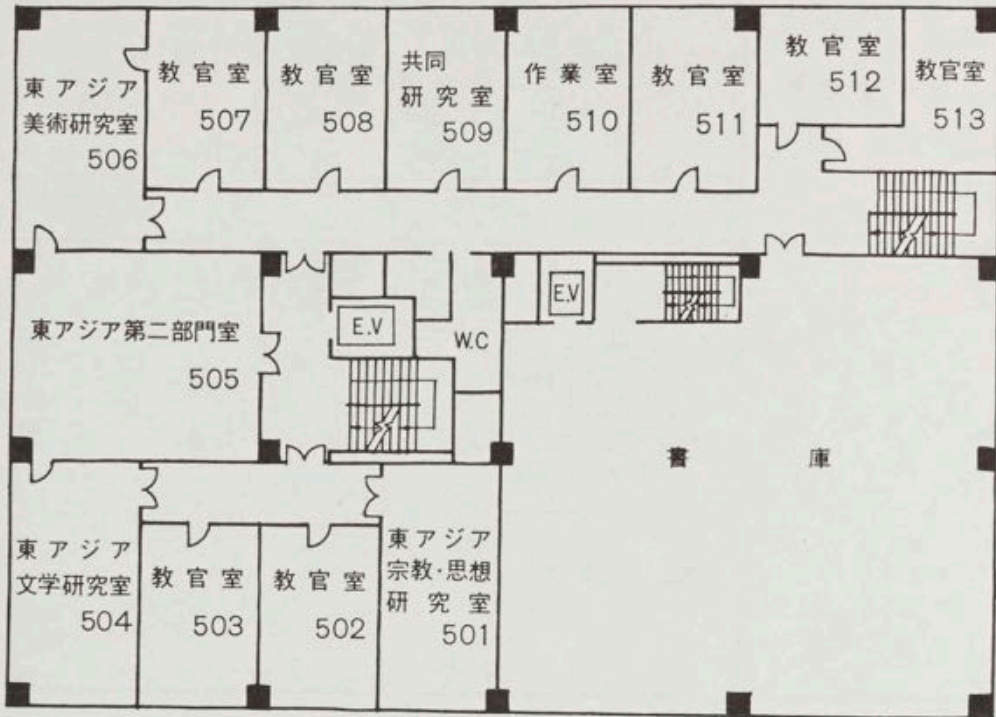
3階



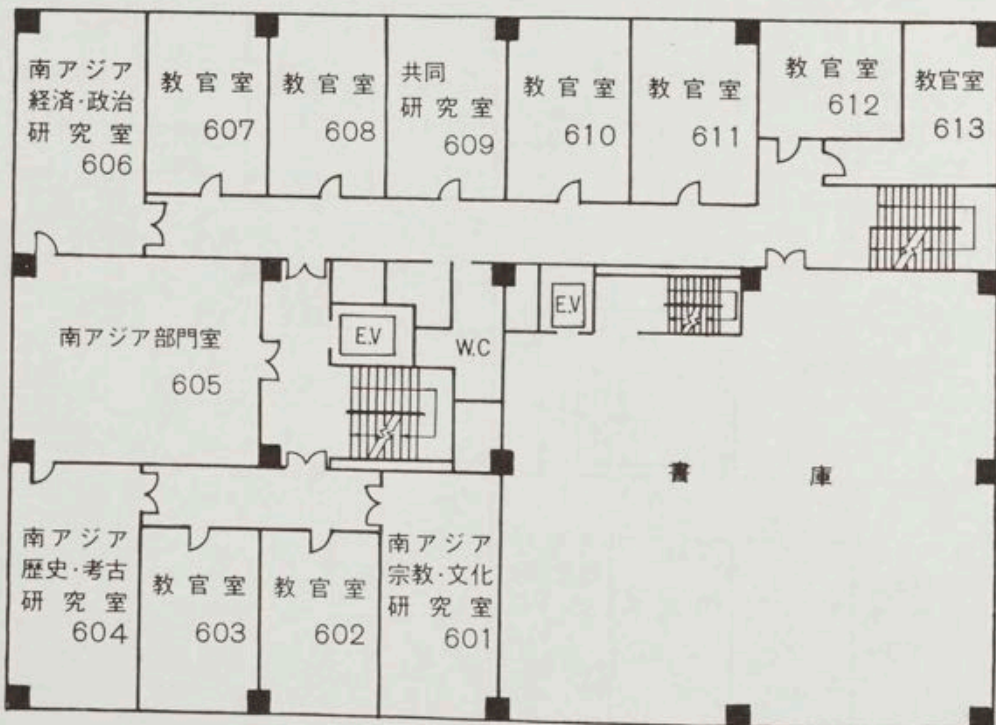
4階



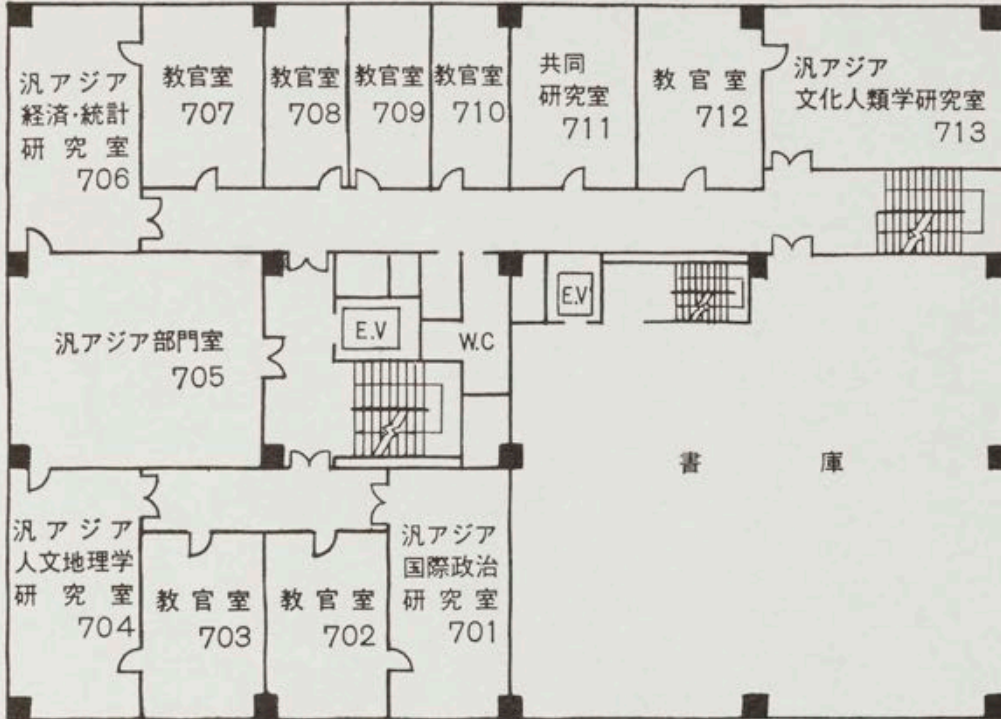
5階



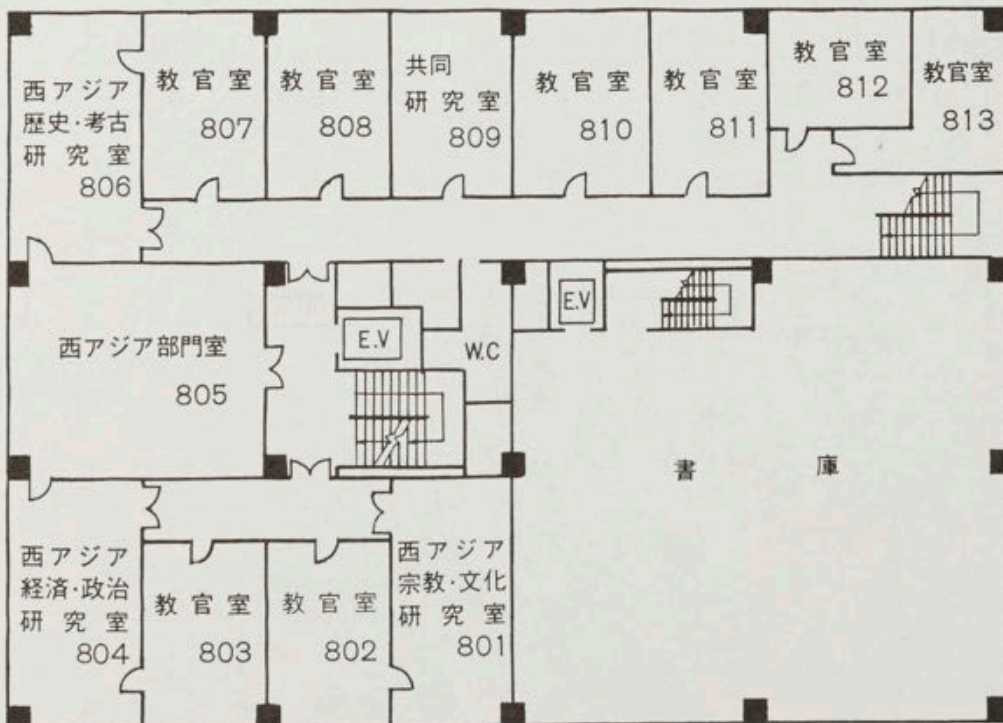
6階

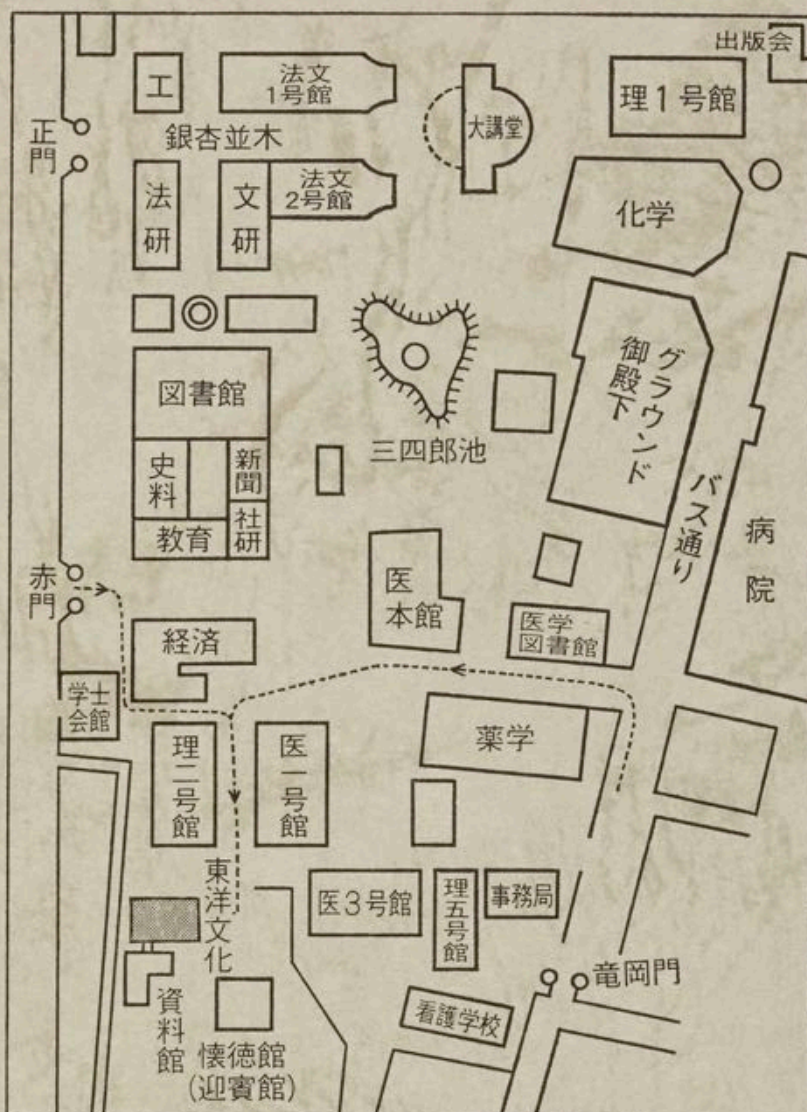


7階



8階





東京大学東洋文化研究所

〒113 東京都文京区本郷 7-3-1

電話 (03) 812-2111 内線 5830, 5831